

ユーザーマニュアル

シリコンパッド方式 卓上方式 手動熱転写箔押し機

【型番】PAIX2



KATANI co., Ltd.

 カタニ産業株式会社

・本書の記載事項は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。

目次

ご使用前に必ずお読みください

安全面にお使いいただくために	3
絵表示の区分	3
安全上のご注意	4,5,6

01 準備

梱包内容の確認	7
各部名称	8,9,10
各部寸法	11,12

02 ご使用方法

PAIX2 の使いかた	13,14
使用中の注意	15
温度設定モニターと使いかた	16
温度調整 BOX 開閉時の内部	17
保守点検とお手入れの注意事項	18

03 トラブルシューティング

トラブルの原因と対策	19
製品仕様	19

04 製品保証 / その他お問い合わせ

製品保証やその他お問い合わせについて	20
--------------------	----

ご使用前に必ずお読みください

この度は「PAIX2」をご購入頂きましてありがとうございます。本機は、従来は高度な技術を要していた箔押し加工を、より簡単かつ安定して行うために開発された手動式ホットスタンプマシンです。

本製品を正しく安全にご使用頂くために、ご使用前には本ユーザーマニュアルを必ずお読みください。お読みいただいた後もいつでも見られるところに大切に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

ここに示している注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

絵表示の区分

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を以下の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 禁止（してはいけないこと）の行為の具体的な内容を示します。

 強制（必ずすること）の行為の具体的な内容を示します。

安全上のご注意



取り扱いについて

-  作業中、熱板で指を詰めないように注意してください。
-  本機の熱板およびシリコンパッドは高温になります。運転中および運転停止直後は、熱板の表面・側面・周辺部には絶対に触れないでください。火傷や火災の原因となり、生命に関わる重大な事故につながるおそれがあります。
-  運転中に異常な発熱、発煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてください。異常状態のまま使用を続けると、感電・火災・重大事故の原因となります。
-  作業を中断する場合や機械から離れる際は、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。小児や第三者が操作できる場所に放置しないでください。
-  本機の分解、改造、指定外部品の使用は禁止します。これらの行為による事故・故障・損害について、当社は責任を負いかねます。
-  本体や電源コードに水をかけたり、水に沈めたりしない。
-  ストープやガスコンロなどの熱源の近くで使用しない。
-  本体の天面の上にものを置かない。
-  使用中は本体から離れない。
-  本体に衝撃を与えない。
-  お手入れの際は、洗剤・アルコール類を使用しない。
-  本体を勢いよく閉めたり、開けたりしない。
-  長時間の空焚きはしない。
-  使用中や使用直後しばらくは高温部に触れない。
-  子供や介助の必要な方だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用したりしない。けが、やけど、感電のおそれがあります。



警告

使用環境について

- 不安定な場所、振動のある場所、棚の上など高所に設置しない。傾いて、けが、やけど、感電、漏電による火災の原因になります。
- 屋外、水のかかる場所、濡れた台の上で使わない。内部に水が入ると、感電や漏電による火災の原因になります。
- 重心が高く、重量があるので水平で堅牢な場所に設置してください。
- 万一の感電防止のためアースをしてください。
- 火気のある場所では使わない。
- 壁や家具、カーテンなどの燃えやすいものの近くで使わない。
- 密閉された場所での使用は避け、十分な寒気を確保する。

電源について

- 濡れた手で電源プラグに触れない。感電の原因になります。
- 電源コード、電源プラグを傷つけない。破壊、加工、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せるなどの行為をしないでください。傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因になります。
- ゆるんだり傷んでいるコンセントは使わない。
- 電源コード、電源プラグの先端に金属片やごみを付着させない。
- 電源コードを束ねたままで使わない。
- 過度の延長コードの使用や、たこ足配線など、定格を超える使い方をしない。
- 異常時・故障時には、直ちに使用を中止して電源プラグを抜く。
- 動作を開始する前に、電源プラグを根元まで確実に差し込む。
- お定入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。
- 専用の電源コード以外は使わない。
- 電源コードを本製品以外の製品に使わない。
- 収納時に電源コードを本体に巻き付けない。
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜く。
- 温度調整ダイヤルが OFF の位置にあることを確認してから、電源プラグの抜き差しをする。



注意

取り扱いについて

- 熱及び / 又は圧力により破裂や爆発するような物体や危険物をプレスしないでください。
- 加圧操作時は、必ず抑えハンドルを使用し、両手で操作してください。片手操作は、指や手を熱板・加圧部に挟まれる原因となり、重傷を負うおそれがあります
- 作業時は、耐熱手袋（袖口まで覆うもの）の着用を推奨します。だぶついた衣服、可燃性のある手袋や布製品は使わないでください。
- 加圧レバーには、両手を添えて操作したりそれ以上の力（体重をかける、工具等を使用する等）を加えないでください。レバーの破損、本体の転倒、重大な怪我の原因となります。
- 変形した物をプレスする場合、圧力が均等にかからないため箔押ししたい物が飛散して、傷害を受けたり機械の破損故障の原因となることがあります。加圧する場合は注意してください。
- シリコンパッドは消耗品です。使用温度、加圧時間、連続使用条件により、軟化・変形・劣化が進行します。異臭、変色、著しい軟化が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。※シリコンパッドの変形・劣化・仕上がり不良は、本体不具合には該当せず、保証対象外となります。
- この製品の電源電圧は AC100V です。電源電圧が異なると、ヒーター、コントローラーの故障の原因になります。
- 本製品を廃棄する場合は、各自治体の分別区分及び廃棄方法に従ってください。金属部品を含みますので、取り扱いには十分ご注意ください。
- 本製品のヒーター、温度センサー、電源スイッチ、リレー装置、プレーカー、温度設定モニターは、高温・高電圧に関わる重要保安部品です。使用者による分解、改造、部品交換は行わないでください。重大な事故や故障の原因となります。

01 準備

梱包内容の確認

PAIX2 には、以下の付属品が同梱されております。**木枠梱包**での出荷となります。
開封時にすべての付属品が揃っている事を確認してください。
万一付属品に不足ございましたら、ご購入先または弊社担当まで直ちにご連絡ください。

1. PAIX2 (本体)



2. シリコンパッド木板 取付円盤金具



3. 熱板 ガード板



※その他、各種案内が添付される場合があります。

	商品名	内容物
1	PAIX2 (本体)	1
2	シリコンパッド木板 取付円盤金具	1
3	熱板 ガード板 (W200mm×H250mm)	1

※押圧用のシリコンパッドは同梱しておりません。本機では、箔押しするワークの形状・素材、ならびに仕上がりの好みによって、ご使用者様にて用途に合ったパッドをお選びいただく仕様としております。**取扱説明書 項 11 記載の【PAIX2 使い方】**にてご紹介しているシリコンパッドは、**サプライ品として弊社から販売しております**。当該シリコンパッドは、耐熱温度の保証値が明確ではないため、使用する加熱温度、加圧時間、連続使用時間によっては、軟化、変形、劣化が進行する可能性があります。使用中に異臭や変色、著しい軟化がみられた場合は、ただちに使用を中止してください。本製品は消耗品としての使用を前提としてください。なお、当該シリコンゴム自体の性能については、使用条件による差が大きいため、シリコンゴムの使用に起因する変形、劣化、仕上がり不良については、本機の不具合には該当せず、**保証の対象外**となります。

【弊社別売シリコンパッドの硬さラインナップ】

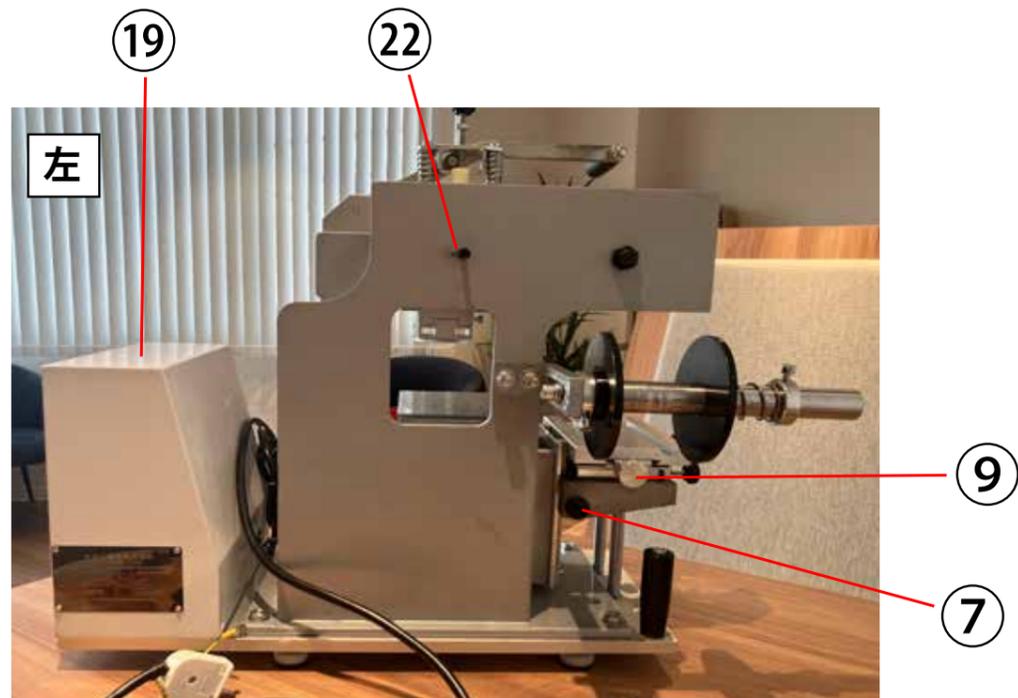
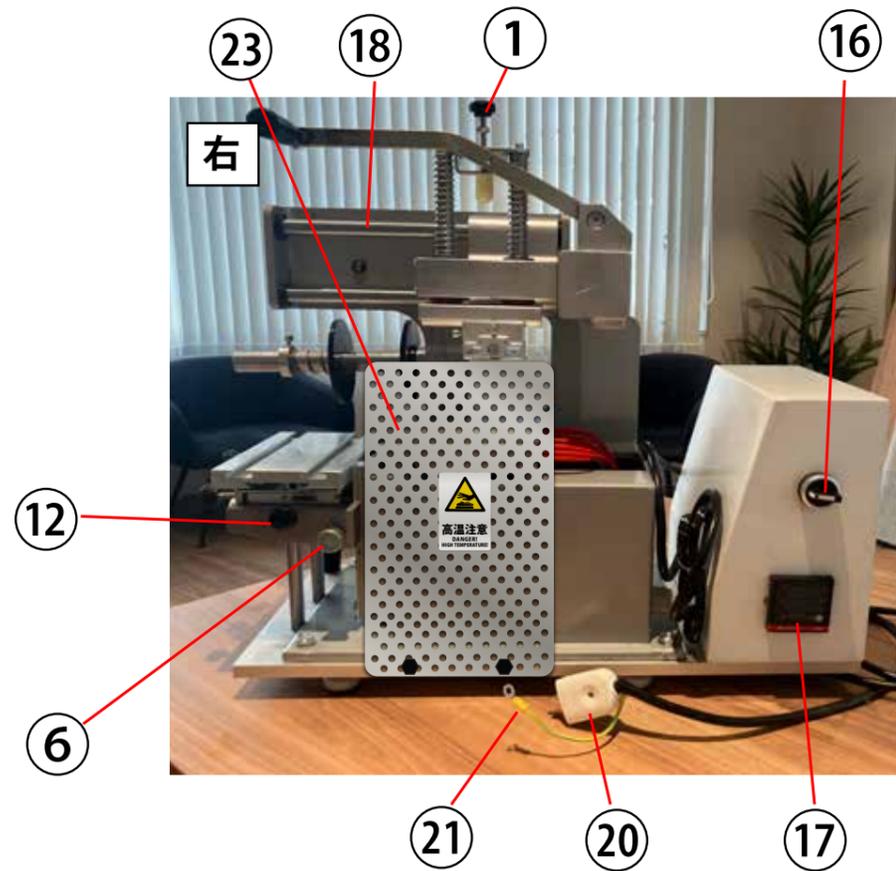
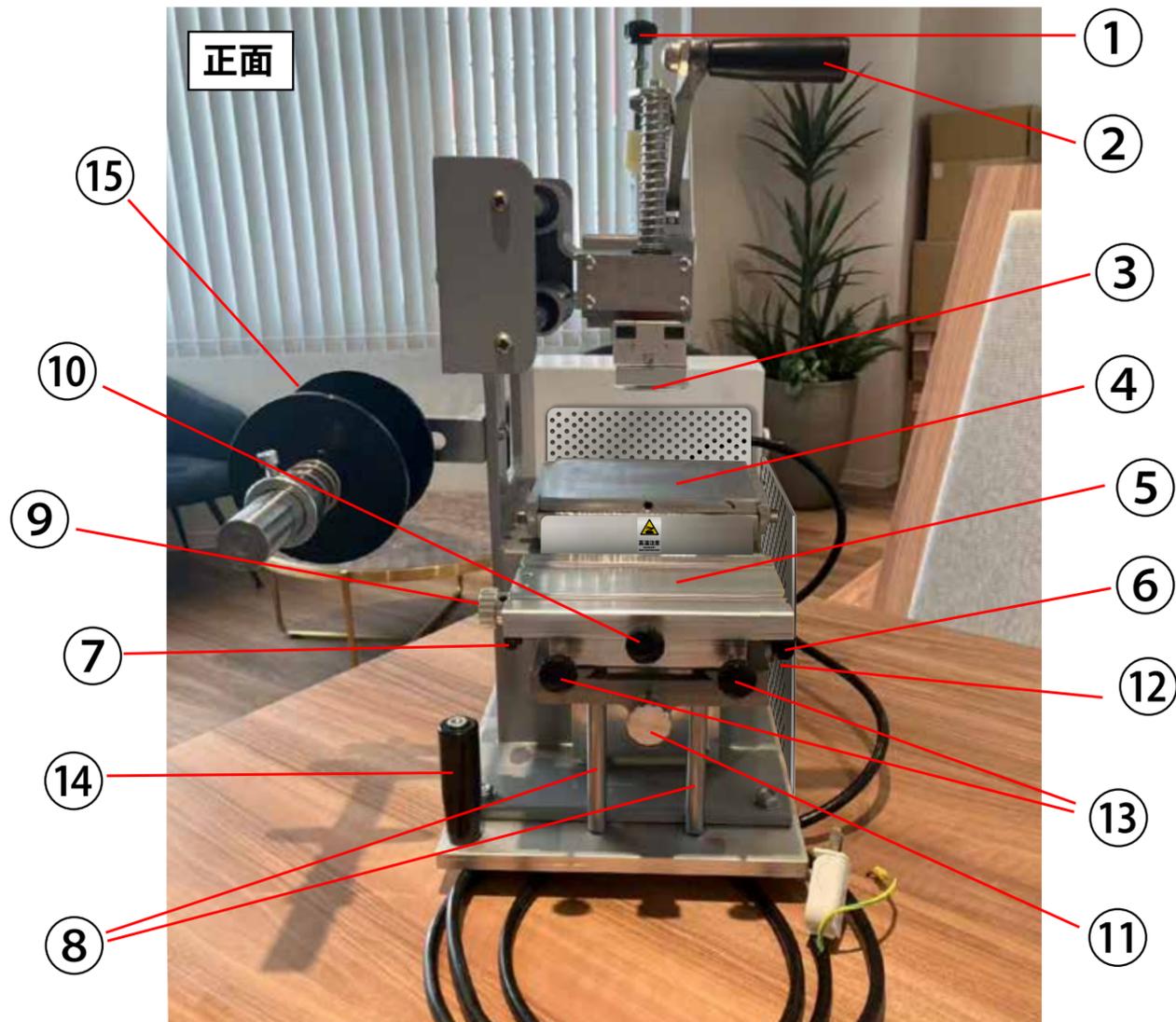
ラインナップ	柔らかい	やや柔らかい	標準	やや硬い	硬い	非常に硬い
硬さの呼称	0	1	2	3	4	4H
硬度 SRIS(ASKER C)	5	8	14	20	27	33

JIS K6253 とは異なります

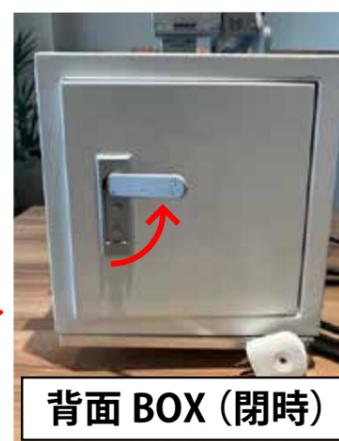
各部の名称 次ページ 9,10 項の図説と併せてご確認ください

- ① **降下調整ネジ**
ネジを時計回しにすると②の下死点が上がります。反時計回りに回すと②の下死点が下がります。
- ② **加圧レバー**
圧力をかけるためのハンドルです。
- ③ **シリコンパッドホルダー**
シリコンパッド木板 取付円盤金具を固定するホルダーです。
- ④ **熱板**
電源を入れると表面側面が高温になります。電源 ON 時や OFF 時直後には触れないでください。火傷の原因です。また高温で焼け溶けるものを載せないでください。火事の原因です。
- ⑤ **作業テーブル**
箔押ししたいものをのせるテーブルです。
- ⑥ **⑤昇降ねじ**
⑤の高さを調整できます。時計回りで高くなり反時計回りで下がります。調整後は⑦ねじで固定してください。
- ⑦ **⑥固定ねじ**
⑥を調整後に固定するねじです。
- ⑧ **⑤の水平調整 及び加圧受け支柱**
2本の先端のねじを回し⑤の水平調整できます。⑦を緩めてから調整してください。先端のねじが⑤に当たっていないと加圧ムラができる可能性がありますのでご注意ください。調整後は⑦を閉め固定してください。
- ⑨ **x 軸調整ねじ**
ねじを時計回りにまわすとテーブルが右へ動きます。反時計回しすると左へ動きます。
- ⑩ **⑨固定ねじ**
⑨動きを固定するねじです。ねじを緩めると⑨を調整できます。
- ⑪ **y 軸調整ねじ**
ねじを時計回りにまわすとテーブルが手前へ動きます。反時計回しすると奥へ動きます。
- ⑫ **⑪固定ねじ**
⑪動きを固定するねじです。ねじを緩めると⑪を調整できます。
- ⑬ **θ 軸調整ねじ**
左ネジを反時計回し、右ネジを時計回しすると時計回りにテーブルが動きます。それぞれのねじを逆に回すと反時計回りにテーブルが動きます。
- ⑭ **抑えハンドル**
②を持つ反対側の手を沿える棒です。片手で②を使わないでください。②④と指をはさむ原因となります。
- ⑮ **箔掛け**
箔をかけておく棒です。
- ⑯ **電源起動スイッチ**
時計回りに回すと電源 ON します。反時計回りで OFF です。
各部名称の画像に ON,OFF 時のスイッチ向き掲載していますので**必ずご確認ください**。
- ⑰ **温度設定モニター**
上段赤字が④内部のヒーター実温度、下段緑字は設定温度です。
- ⑱ **スライド棒**
②を平行に⑤へスライドさせる棒です。
- ⑲ **温度調整 BOX**
温度調整をするための電気回路が内蔵している BOX です。
- ⑳ **電源**
単層 100V です。
- ㉑ **アース**
必ず取り付けお願いいたします。
- ㉒ **スライド固定ねじ**
②のスライド操作ができないよう固定するねじです。使用後や移動させるときは**必ずねじで固定**してください。事故の原因となります。使用中は緩めてください。
- ㉓ **熱板ガード板**
熱板に手が届かないように保護する板です。作業中は必ず取付ください。火傷や怪我の原因となります。

各部の名称



赤矢印に
レバー回し
扉開ける

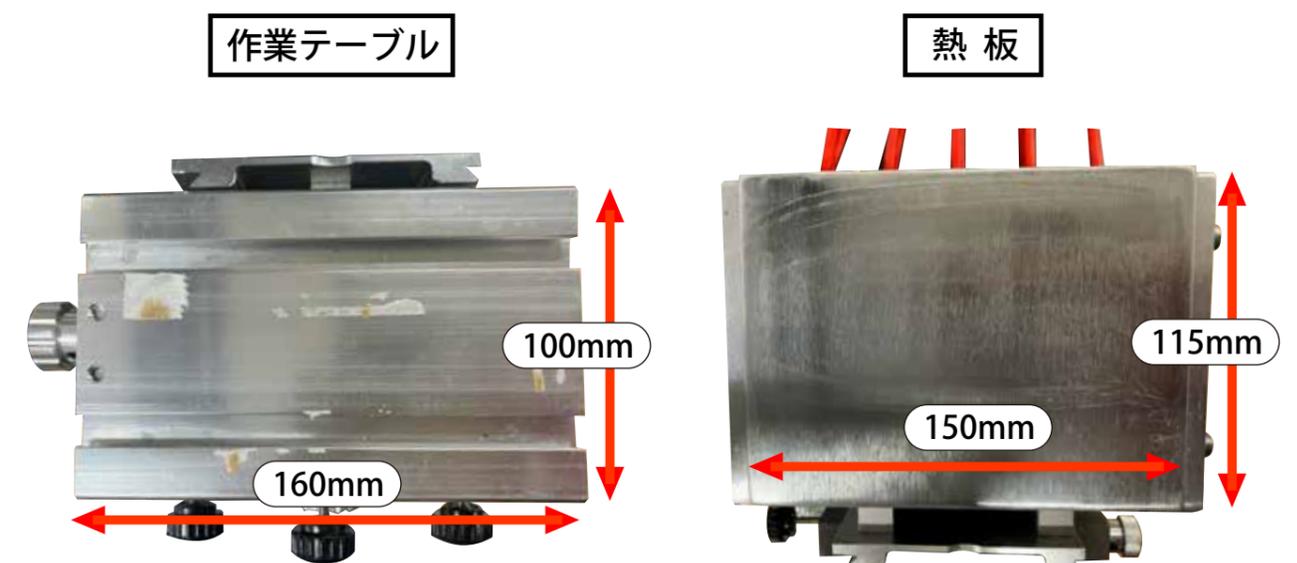
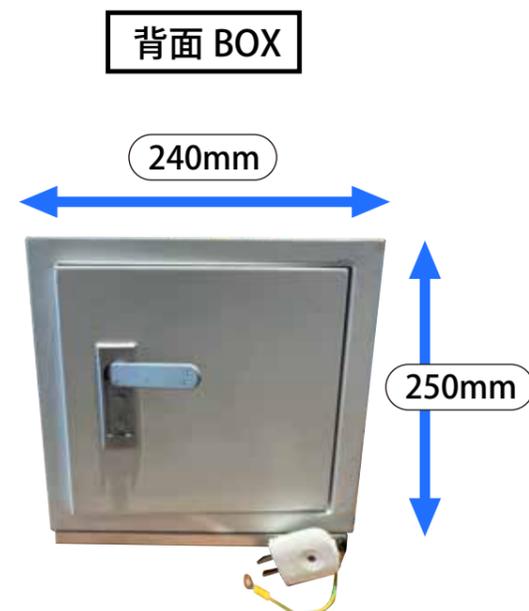
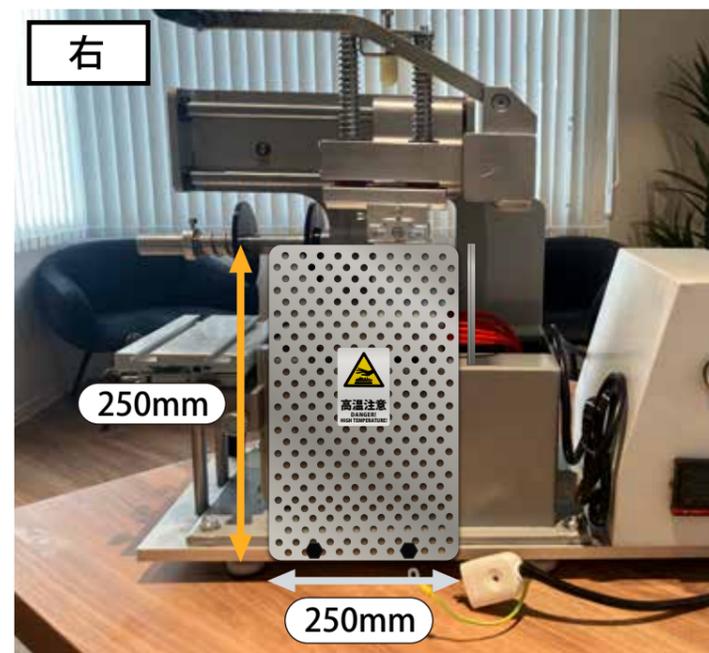
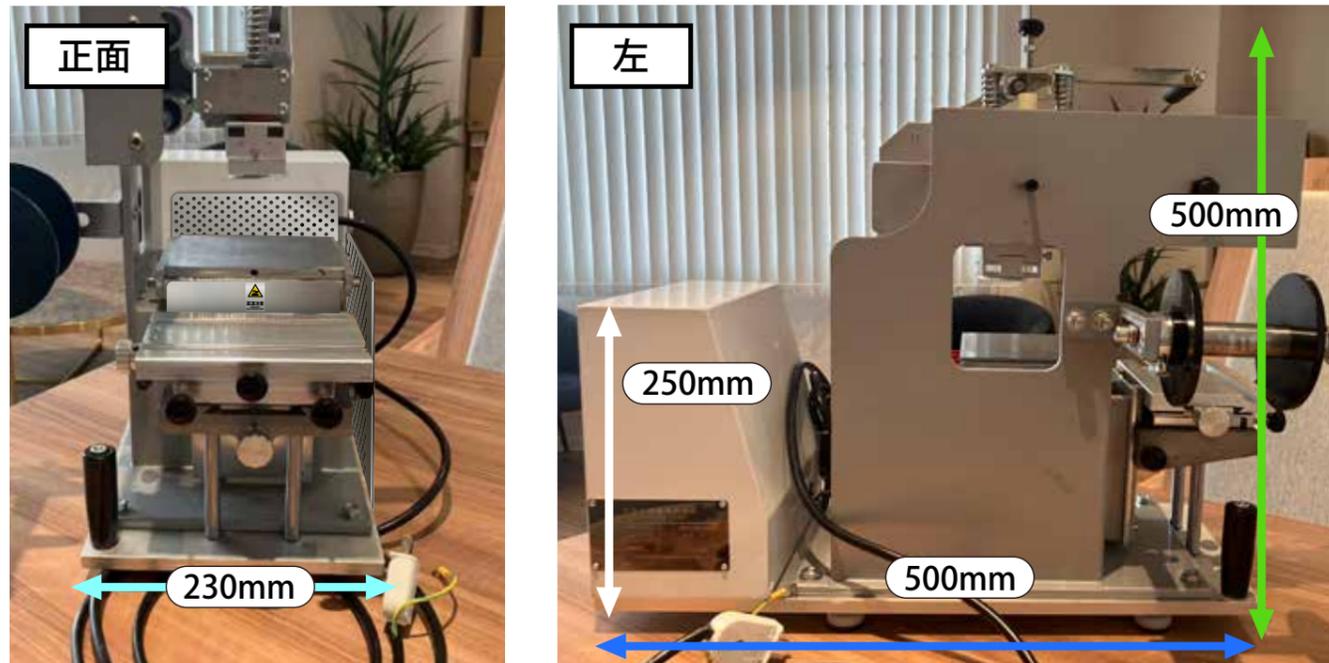


電源 ON
向き



電源 OFF
向き

各部の寸法



※ 製品の仕様・寸法・デザインは予告なく変更する場合がございますのでご了承ください

02 ご使用方法

PAIX2 の使いかた 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 次ページへ

1

シリコンパッド装着 (写真で位置を確認してください)

1. シリコンゴム背面木板へ

円盤を木ねじで固定取付 ※



2. 円盤凸部を加圧レバー下部ホルダー先端の穴へ挿入

六角レンチで下部ホルダーを横からネジ締め固定

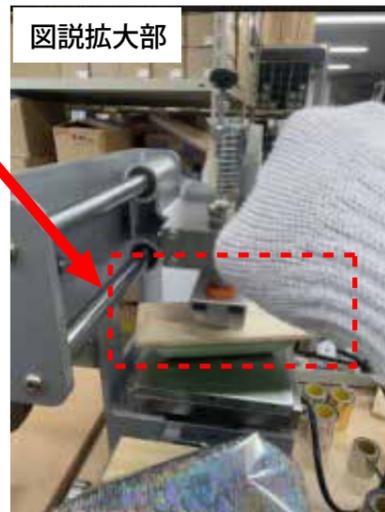


3. パッドの位置 (y 軸 緑矢印方向) を調整できます。

位置が決まったら上部ホルダーを六角レンチでネジ締め固定



図説拡大部



2

②のねじを緩める

緩めて加圧レバーが手前 / 奥方向へスライドできるようにしてください。

3

電源 ON

⑬を反時計回して電源 ON してください。④の温度が上昇します。

※注意

本手順は、弊社別売サプライ品の木板付シリコンパッドを使用する場合の装着方法です。シリコンパッドは単体では固定できません。必ず木ねじ固定が可能な木板等の台座に、シリコンパッドが外れないよう確実に固着したうえで、機械へ装着してください。固着が不十分な場合、作業中にシリコンパッドが脱落し、事故やけがにつながるおそれがあります。装着状態を十分に確認し、安全に配慮して作業を行ってください。

PAIX2 の使いかた 4 ⇒ 5 ⇒ 6 ⇒ 7 ⇒ 8 ⇒ 9

<条件例 (弊社別売シリコンパッド使用)>

熱板内部 ヒーター温度：230℃, シリコン表面温度約 145℃, シリコン硬度 5°

熱板とシリコン圧着時間 10 秒, ワークとシリコン圧着時間 10 秒, プラスチック用箱, ワーク素材 透明 ABS ルアー

4

パテでワーク固定用のジグを作り、作業テーブルへセット、ジグを作業テーブルへ固定

ワークやジグが作業台に固定されていない場合、圧力が分散し転写不良の原因となります。また、ワークが飛散し、怪我や機械の破損につながるおそれがあります。加圧する場合は注意してください。ジグ固定は 4 方へブロックをあて固定など、工夫してみてください。



5

ワークの上に箔をセット (フィルム側を上)



6

加圧レバーを奥へスライドしシリコンパッドを熱板上まで移動。加圧レバーを下げてシリコン表面を温める

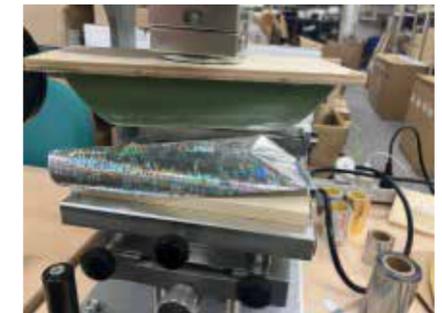
加圧レバーを奥までスライド、加圧レバーを下げて熱板へ圧着させてシリコン表面を温めます。熱板と十分に圧着していない部分には熱が伝わらないため、箔押しできません。シリコン表面 (熱板との接触面) シリコン表面推奨温度は 145℃前後です。それ以上高温に温めると、シリコンから煙が出たり溶けたり劣化や火事の原因となります。圧着時間や温度設定は調整をお願いします。



7

シリコンパッドを手前にスライド

作業テーブルまで加圧レバーを手前へスライドさせます。手前までしっかりとスライドさせないとワークとシリコンの位置がずれてしまうのでご注意ください。



箔押し

加圧レバーを下げワークへ圧着させて箔押しします。加圧時間が長いと、プラスチックのワークは変形しますのでご注意ください。シリコンが圧着していない部分には箔はつきません。

8



9

完成

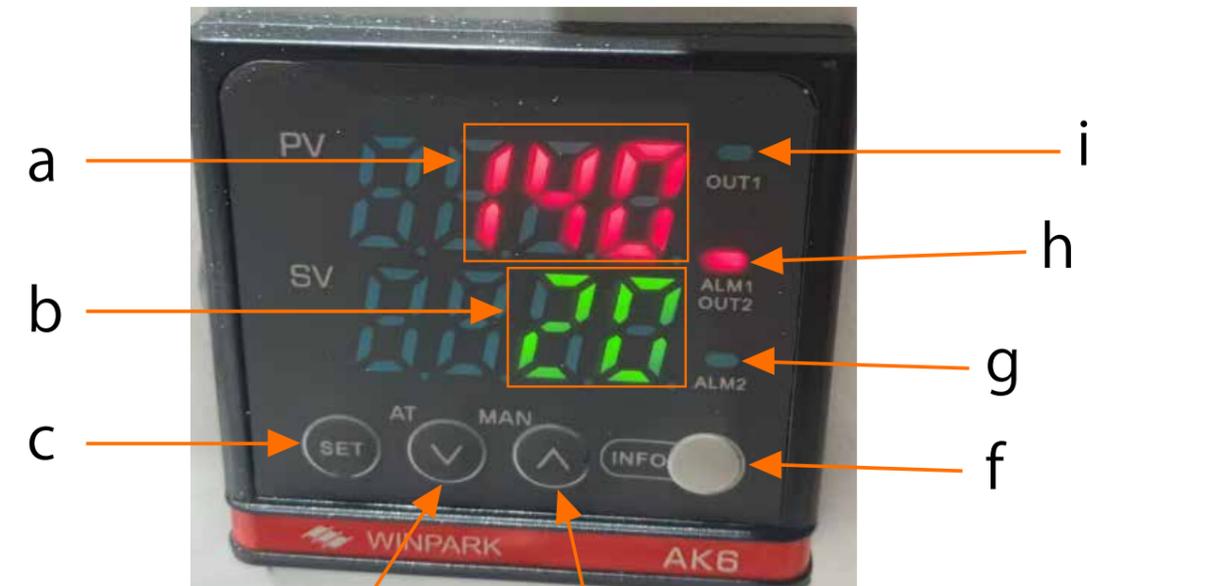
加圧レバーを上げて、奥へスライドさせます。その後箔フィルムを剥がして完成です。



⚠ 使用上の注意

1. 電源 ON すると④の表面、上面、側面は高温になります。
使用中、使用直後に触れると火傷のおそれがありますので十分ご注意ください。
2. シリコンゴム、熱板は加熱されており、本体各部も高温です。
手指や腕に火傷をしないようご注意ください。袖部のある断熱性の手袋使用を推奨します。
3. 作業中は火傷を防止するため必ず、②を取り付けてから作業してください。
4. シリコンゴムは落下しないようしっかりとねじ止め固定して作業をしてください。
5. 加圧レバーを操作 加圧する際は、抑えハンドルを片手で抑え、両手が塞がり熱板などとの指詰めしないよう注意して作業してください。
6. 加圧レバーへ両手もしくは全体重をのせ、プレスしたり、手動以外の圧力をかけて無理な力をかけてプレスしないでください。レバーの破損や機械の故障、機械転倒による怪我の原因となります。
7. 運転中、熱板の異常発熱、温度調整 BOX の発熱、発煙などが発生しましたら、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
8. 作業を中断する場合や機械から離れる際は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

温度設定モニター名称と使い方（機械名称 ⑮）



- 【a】 熱板内部 ヒーター実温度
- 【b】 ヒーター設定温度
- 【c】 温度設定変更 / 設定スイッチ
- 【d】 ヒーター温度下降スイッチ
- 【e】 ヒーター温度上昇スイッチ
- 【f】 装置の運転記録情報
過去のアラーム記録, 装置の累計運転時間, 出力 (OUT1/OUT2) 動作状態, セルフチューニング (AT) の運転状態, 手動 / 自動モード切り替え履歴, 装置の運転に関連する状態詳細情報
- 【g】 アラーム出力
- 【h】 アラーム出力 (温度低下時に点灯)
- 【i】 温度上昇時に点灯

温度設定モニターの使いかた

- ①【c】を1回押しすると【b】が点滅し調整できるようになります。
- ②【d】で温度を下げて、【e】で温度をあげます。
- ③希望の温度になったら【c】を押し【b】が点滅しなくなったら、設定完了です。

★【a】の表示点滅異常時の【モニター正常化（初期化）】の方法

【c】を長押しすると、以下 A 画面が表示されます。その画面で操作をしてしまうと、【a】が点滅してしまう場合がございます。その際は、再度【c】を長押ししていただき B 画面のように緑数字を「110」まで【e】を押し【c】を押ししてください。初期化が行われ、出荷時の状態にリセットされて正常に作動します。



A 画面 (【c】長押し)

初期化の動作 (図説)



温度調整 BOX 開閉時の内部



各 부품の役割

【電源スイッチ部品】

電源起動スイッチの ON,OFF を切り替える部品です。

【漏電遮断機】

電気の使いすぎや漏電など、電気回路に異常が発生した際に自動的に電気を遮断します。

【温度設定モニター】

温度設定を指示する部品です。

【リレー装置】

温度設定モニターの数字に応じて電源 ON,OFF を繰り返し行われ温度調整を行います。

⚠ 警告

温度調整 BOX は漏電遮断器の ON,OFF の確認時以外、開けたり各部品に触れないでください。

BOX へ工具・資材などの物は置かないでください。火災や怪我の原因となります。

また漏電遮断器は電源 OFF, コンセントを抜いた状態で操作してください。感電や怪我の原因となります。



漏電遮断器 ON 時



漏電遮断器 OFF 時

保守点検とお手入れの注意事項

末永くお使いいただくために下記事項をお守りください。

 分解禁止	<p>改造や分解、修理は絶対にしないでください。 故障の原因になったり、感電の恐れがあります。</p>
 改造禁止	<p>製品の改造及び用途以外の使い方はしないでください。 故障、感電の原因になることがあります。</p>
 高温注意	<p>使用中及び使用直後、熱板と本体に触れる際にはご注意ください。 設定温度によっては高温になっていますので火傷の恐れがあります。 保守点検を行う場合は温度が下がってから行ってください。</p>

1) 熱板が水平に保持していること、作業台が並行であることを確認ください。

2) 熱板面の点検

異常なキズ、凹み、汚れの有無を点検し、正常な状態を維持してください。
お手入れは電源スイッチを切り電源プラグを抜いてから 12 時間以上あけ、
熱板をよく冷ましてから作業してください。

3) シリコン面の点検

異常なキズ、凹み、汚れの有無を点検し、正常な状態を維持してください。
お手入れはシリコンをよく冷まし機械から取り外して作業してください。

4) 加圧レバーの点検

レバー操作、スライド操作がスムーズに稼働するか各部を固定しているねじ
にゆるみがないか、油が不足し噛んでいないか点検してください。

5) 分解・改造の禁止

操作部品及び熱板の内蔵ヒーター、内蔵温度センサー、電源スイッチ部品、
リレー装置、漏電遮断機、温度設定モニターは、高温・高電圧に関わる
重要保安部品です。使用者による分解、改造、部品交換は行わないで
ください。重大な事故や故障の原因となります

トラブルの原因と対策

以下のようなトラブルが発生した場合の原因として次のような事項が考えられます。

対策欄を参考にして対処をお願いいたします。

トラブル	原因	対策
1) 熱板の温度が上がらない 2) 温度が上がりにくい	1) 電源が入っていない 2) 設定温度が低い 3) 温度調整 BOX 内部部品の異常 4) ヒーターの故障	1) 電源を入れる 2) 温度設定モニターで適切な温度設定を行う 3) 電装部品一式交換※ 4) 電装部品一式交換※
3) 加圧できない	1) ワークの高さが低い 2) ハンドル機構部分の故障	1) ワークの高さを確認し、作業テーブルの上昇、ハンドル下死点調整 2) 部品交換
4) 均一加圧ができない	1) 熱板が水平でない 2) 作業台が水平でない 3) 熱板の凹み、キズ、汚れ 4) シリコンゴムの凹み、キズ、汚れ	1) 水平な作業台へ機械を移動させる 2) 調整ねじで水平にする 3) 熱板面の汚れ除去、汚れ、キズ凹みが著しい場合は、熱板交換 4) シリコンゴムの汚れ除去、汚れ、キズ凹みが著しい場合は、シリコン交換
5) 温度の設定ができない	1) 温度設定モニターの故障	1) 電装部品一式交換※
6) 温度設定モニターのヒーター実温度表示点滅	1) 温度設定モニターの誤操作	1) 項 16★のモニター正常化（初期化）操作を行う
7) 電源が入らない	1) コンセントに電源が差し込まれていない 2) 電源起動スイッチが ON していない 3) 漏電遮断器が OFF になっている	1) コンセントに電源を差し込む 2) 電源起動スイッチが ON する 3) 電源 OFF → コンセント抜く → 漏電遮断器 ON → 電源 ON の順番で確認する

※【重要】電装部品の故障時の対応について

本製品に使用されている熱板内蔵ヒーター、内蔵温度センサー、電源スイッチ部品、リレー装置、漏電遮断器、温度設定モニターのいずれかに故障・異常が確認された場合は、部品単体での修理・交換は行わず、本体一式での交換対応となります。これらの部品は、温度制御精度の維持および安全性確保の観点から、相互に調整・校正された状態で出荷されています。そのため、いずれか一部の部品のみを交換した場合、温度制御誤差や過昇温等の危険が生じるおそれがあります。安全確保のため、該当部品に異常が確認された場合は、使用者による個別部品の修理・交換は行えません。不特定多数の使用環境における安全性確保のため、個別修理対応は行っておりません。

製品仕様

製品名	シリコンパッド式 手動 熱転写箔押機
型番	PAIX2
寸法	W400mm × D510mm × H600mm（箔掛け含む）
重量	26.5Kg
熱板 温度設定範囲	室温 +20°C～300°C
温度制御方式	PID 制御方式
温度表示	LED デジタル表示
熱板サイズ	W150mm × D115mm
作業テーブル	W160mm × D100mm
加圧レバーストローク	60mm
電源	100V, 50/60Hz
出力	1.25KW
製造国	中国

※製品の仕様・寸法・デザインは予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

製品保証について

保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷しておりますが、万が一保証期間内に、下記保証規定（1）に基づく正常な使用状態での故障の節は右記保証規定により修理いたします。

品名	シリコンパッド式 手動 熱転写箔押機
型式	PAIX2
シリアルナンバー	
保証期間	お買い上げ日より半年間
お買い上げ日	西暦 年 月 日
お客様	様
ご住所	
電話番号	
販売店	
住所	
電話番号	

 **カタニ産業株式会社**

(1) 本製品は、取扱説明書に記載された使用方法および使用条件、または本製品の仕様・使用目的から合理的に想定される通常の使用状態において故障が発生した場合、お買い上げ日より6か月間、無償にて修理いたします。なお、初期不良についてはご購入後1か月以内に限り無償にて交換または修理対応いたします。

(2) 次の場合は、保証期間内であっても有償修理とさせていただきます。

- ・ 誤った使用、不当な修理・改造による故障
- ・ 本品納入後の移動・輸送、落下、衝撃等による故障
- ・ 接続している他の機器が原因で生じた故障
- ・ 使用条件（温度、圧力、使用時間、連続使用等）に起因する変形、劣化仕がり不良。
- ・ シリコンパッド、箔などの消耗品の使用または交換に起因する不具合。
- ・ 車両・船舶等に搭載して使用したことによる故障
- ・ 消耗部品および付属部品の交換
- ・ 保証書の字句を訂正された場合
- ・ 購入年月日または購入店の記載がない場合
- ・ 保証書のご提示がない場合
- ・ 熱板内蔵ヒーター、内蔵温度センサー、電源スイッチ、リレー装置、ブレーカー、温度設定モニターの部品単体での修理・交換を行った場合
- ・ 使用者または第三者による分解、改造、修理、部品交換
- ・ 当社指定以外の方法での修理・調整

(3) 本保証は、納入品本体単体の保証を意味するものであり、本製品の故障により発生した間接的損害、逸失利益等については責任を負いかねます。

保証適用地域

(4) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

商品についてのお問い合わせ

【会社】カタニ産業(株) 【TEL】(076)263-6111(代)

【受付時間】午前9時～12時、午後13時～17時30分（土日祝及び弊社休業日はご利用できません。）

・本書の記載事項は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。